

安全データシート

作成日 1993年04月01日

改訂日 2014年05月01日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : 次亜塩素酸ソーダ
 整理番号 : HS104
 会社名 : 北海道曹達株式会社
 住所 : 北海道苫小牧市沼ノ端134番地122号
 電話番号 : 0144-55-3788
 FAX番号 : 0144-55-1193

2. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害性 : 眼に入れたときには刺激性があり、すぐ洗わないと角膜が侵され手当てが遅いか処置が適当でないと視力低下や失明するおそれがある。
 皮膚に触れたときに刺激性があり長期にわたると皮膚炎や湿疹を起こす。

環境への影響 : 悪臭があり、排気には注意する。水中で徐々に分解する。

物理的及び化学的危険性 : 酸と接触した場合に有毒ガス(塩素)を発生する。金属類、天然繊維類の殆どのものを腐食する。日光、特に紫外線で分解が促進される。

特有の危険有害性 : 特になし

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分4

急性毒性(経皮) : 分類できない

急性毒性(吸引・ガス) : 分類できない

急性毒性(吸引・ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1

呼吸器感作性と皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回曝露) : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復曝露) : 分類できない

吸引呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 区分2

水生環境慢性有害性 : 分類できない

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報	: 金属腐食のおそれ。 飲み込むと有害。 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。 水生生物に毒性。 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
注意書き 予防策	: 使用前に本紙の安全注意事項を読み取り扱う事。 屋外または換気の良い場所でのみ使用し、ミスト、蒸気、スプレー等を吸入しないこと。 取り扱った後、手、顔などをよく洗うこと。 指定された個人用保護具(眼鏡、手袋、保護面、保護衣、長靴等)を着用すること。 環境への放出を避けること。
対応	: この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。 : 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは医師の診断を受ける。 皮膚にかかった場合は、直ちに汚染された衣服を全て脱ぎ、皮膚を大量の水で洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断を受けること。 眼に入った場合は、水で数分間洗い、刺激が続く場合は医師の診断を受ける。 汚染された衣類を再使用する場合は、洗濯をすること。
保管	: 容器を密閉して、直射日光を避け、換気の良い涼しい所に保管する。 施錠し保管すること。
廃棄	: 内容物又は容器を廃棄する場合には、都道府県の規則に従うこと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 単一製品
化学名又は一般名 別名	: 次亜塩素酸ナトリウム : 次亜塩素酸ソーダ
化学式(化学特性)	: NaClO
含有量	: 12.0~13.0%
化審法番号	: 1-237
安衛法番号	: 番号なし
CAS番号	: 7681-52-9

4. 応急措置

吸入した場合	: 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受ける。 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
皮膚に付着した場合	重症の場合は、直ちに医師の診断を受け、その指示に従う。 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 大量の水を使用して十分に洗い落とす。
目に入った場合	直ちに医師の診断を受ける。 : 直ちに大量の水道水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	洗眼が遅れると障害を大きくする恐れがある。 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受ける。 水でよく口の中をすすがせた上で、水を飲ませて希釈する。

5. 火災時の措置

消火剤	: 大量の水による(酸性の消火剤はさける)。
特有の危険有害性	: 情報なし。
特有の消火方法	: 周辺火災の処置は次による。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。
 熱により分解して、塩素等の有害ガスを発生するので、消火作業従事者は防毒マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急措置 : 作業の際は保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したりガスを吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項
 回収、中和 : 環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。
 : 土砂等で流出防止用の堤防を作り、空容器に回収するか又は土砂等に吸着させ取除き容器に回収する。
 : できるだけ取除いた後、漏出した場所は、大量の水で洗い流す。必要なら水で希釈後亜硫酸ナトリウムをもちいて有効塩素を分解してから多量の水で洗い流す。
- 二次災害の防止 : 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
 : 漏洩した場所の周辺にはロープを張る等し、関係者以外の立入を禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 保護具を着用し取り扱う。
 : 換気の良い場所で取り扱う。
 : 貯槽への受入配管は、特に他の配管と区別できるよう受入口の見やすい場所に品名を表示する。
- 局所排気・全体換気 : 取り扱う場所は、局所排気内、又は全体換気のある場所で取り扱う。
 注意事項 : 換気の良い場所で取り扱う。
- 安全取扱注意事項 : 作業中に温度が上昇したり、重金属類の混入があると分解し酸素ガスを発生する。
 : 塩酸、PAC、塩化鉄等と接触したり、pHが低下すると塩素ガスの発生が起きるので注意が必要である。
- 保管
- 保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
 : 貯蔵する容器内には、重金属類の鉄等が混入しないようにする。
- 容器包装材料 : 内装がブチルゴムライニング、ポリエチレン、チタン、塩ビ製等容器に保存する。

8. 曝露防止及び保護措置

- 設備対策 : 屋内作業の場合は、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にする。
 : 取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設ける。
- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 日本産業衛生学会 (2006年度版) : 設定されていない。
 ACGIH (2006年度版) : 設定されていない。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : ハロゲンガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器
- 手の保護具 : ゴム手袋
- 目の保護具 : ゴーグル型
- 皮膚及び身体の保護具 : ゴム長靴、不浸透性保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 外観
- 物理的状態 : 橙黄色の透明な液体
- 形状 : 液体

色	: 橙黄色
臭い	: 強い塩素臭
pH	: 12~14
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
爆発範囲	: 上限/下限 データなし
蒸気圧	: データなし
比重(相対密度)	: 1.20g/cm ³ (濃度12.28%、20℃)
溶解度	: 水に可溶
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 空気、熱、光、金属等に極めて不安定で、放置すると徐々に分解し有効塩素を失う。
反応性	: 強い酸化剤。
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	: 腐食性があるので鉄製の容器は使用しない。
混触危険物	: アミン類やアンモニアと反応して有害で爆発性の三塩化窒素を発生する。酸との接触やpHの低下により塩素ガスを発生する。
危険有害な生成物	: 酸との混合により塩素ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 LD ₅₀ (マウス) (雄) 6.8ml/kg、(雌) 5.8ml/kg 有効塩素10% 経口致死量 15~30ml(5%液)
皮膚腐食性・刺激性	: 腐食性があり、皮膚、眼、粘膜を激しく刺激する。 ミストを吸入すると気道粘膜を刺激し、しわがれ声、咽頭部の灼熱感、疼痛、激しい咳、肺水腫を生ずる。
眼に対する重篤な影響・刺激性	: 眼 ウサギ 10mg 中等度
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: Ames試験 陰性 染色体異常試験 陽性
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性	
(単回曝露)	: データなし
(反復曝露)	: ラット(7週齢)に飲料水として投与した場合、2週間の投与で0.25%以上、13週間の投与では0.2%以上で著しい体重増加抑制がみられた。
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: 魚類(ファッドヘッドミノー)LC ₅₀ (96h) = 5.9mg/L 甲殻類(グラスシュリンプ)LC ₅₀ (48h) = 52.0mg/L
その他	: 漏洩・廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 亜硫酸ナトリウム水溶液に少量ずつ徐々に加え、有効塩素を分解した後に処理する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理を行なうか、委託する。

汚染容器及び包装

: 容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

14. 輸送上の注意

国連分類

: クラス8

国連番号

: 1791

国連輸送名

: 次亜塩素酸塩

容器等級

: PGIII

海洋汚染物質

: 該当

日本国内での規制情報

: 海洋汚染防止法・港則法・船舶安全法に定めるところに従う。
航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

: 名称等を通知すべき危険物及び有害物(SDSの交付) = 該当しない

毒物及び劇物取締法

: 該当しない

水質汚濁防止法

: 指定物質「次亜塩素酸ナトリウム」

海洋汚染防止法

: 有害液体物質(Y類物質)

船舶安全法

: 腐食性物質

航空法

: 腐食性物質

港則法

: 危険物・腐食性物質

16. その他の情報

引用文献

: 製品安全データシート「次亜塩素酸ソーダ」日本ソーダ工業会 2008

記載の取扱い

: 全ての情報や文献を調査したわけではないため情報もれがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意願います。

製品の譲渡時にはSDSを添付して下さい。

SDSに関するお問い合わせ

: 営業部営業課

合わせ先 Tel:0144-55-3788

Fax:0144-55-1193